

# つちおと

5/27(水)

～ 気仙沼鹿折加工協同組合 新事務所完成(気仙沼市)！ ～

●5月27日、震災で被災した気仙沼市鹿折地区の水産加工会社（19社）でつくる「気仙沼鹿折加工協同組合」の新事務所落成式が行われました。

神事を行った後、施主挨拶として、川村気仙沼鹿折加工協同組合理事長、震災当時からご支援を頂いた住友商事株式会社、三井物産株式会社に感謝状の贈呈、来賓祝辞として、村井宮城県知事からお祝いのお言葉を頂きました。約100人が出席する中、盛大に式典が開催されました。

この組合は東日本大震災により甚大な被害を受けた鹿折地区の地元水産加工会社が結集し、商社の他、行政機関、地元関係団体・金融機関等から支援を受け、平成24年8月1日に設立されました。

今後は、落成した新事務所を活動の拠点、また全国の皆様と気仙沼の水産加工業とのコミュニケーションの場として、活用し、地域経済の創造的復興等に寄与するため、関係機関と連携しつつ事業に取り組みます。



完成を祝い、テープカットを行った。



神事の様子

◆5月31日（日）、「みなとでマルシェ（気仙沼つばき会主催）」に出かけてみました。気仙沼市柏崎で朝7時から行われ、7時前には多くのお客様が並んでいました。白飯も販売されており、各店舗で購入した物と食べられる場所も設置されていました。

その後、気仙沼「海の市」で開催されていた、南気仙沼小学校の児童がカメラマンとなり撮影した写真展に行ってみました。

この「こどもカメラマンプロジェクト」は、震災2か月後の平成23年5月より動きはじめたもので、今回展示されたのは、震災当時を撮影したものと平成25年2月に「南気仙沼小学校」をテーマに子供達が撮影したものでした。写真に写る子供たちは、震災のつらさを感じさせない力強い笑顔でした。

写真展を企画した石原さんとお話することもできました。その中で石原さんは「こどもカメラマンプロジェクト」に参加した小学5年生だった子供達も、もう中学3年生です。子供たちが受験生となったことをひとつのきっかけとして開催を決めました。これからも、是非全国で写真展を行っていきたいです。」とおっしゃっていました。

その後、徳仙丈山（標高711m）に登ってみました。天気も良く、山頂からは、気仙沼の復興事業の様子を一望することができました。つつじは、残念ながら10日前くらいに満開だったということで、時期を逃してしまいました。（櫻）

～ 進む 震災復興! ～

市内小泉地区において、がれき処理を行った跡地の整備が終了し、いま大規模ハウスの設置が急ピッチで進められています。



高台から見る大規模ハウス

これは、地区の被災農家が農業法人を設立し、トマト養液栽培により、被災農業者を雇用しつつ営農を再開・継続しようとするものです。



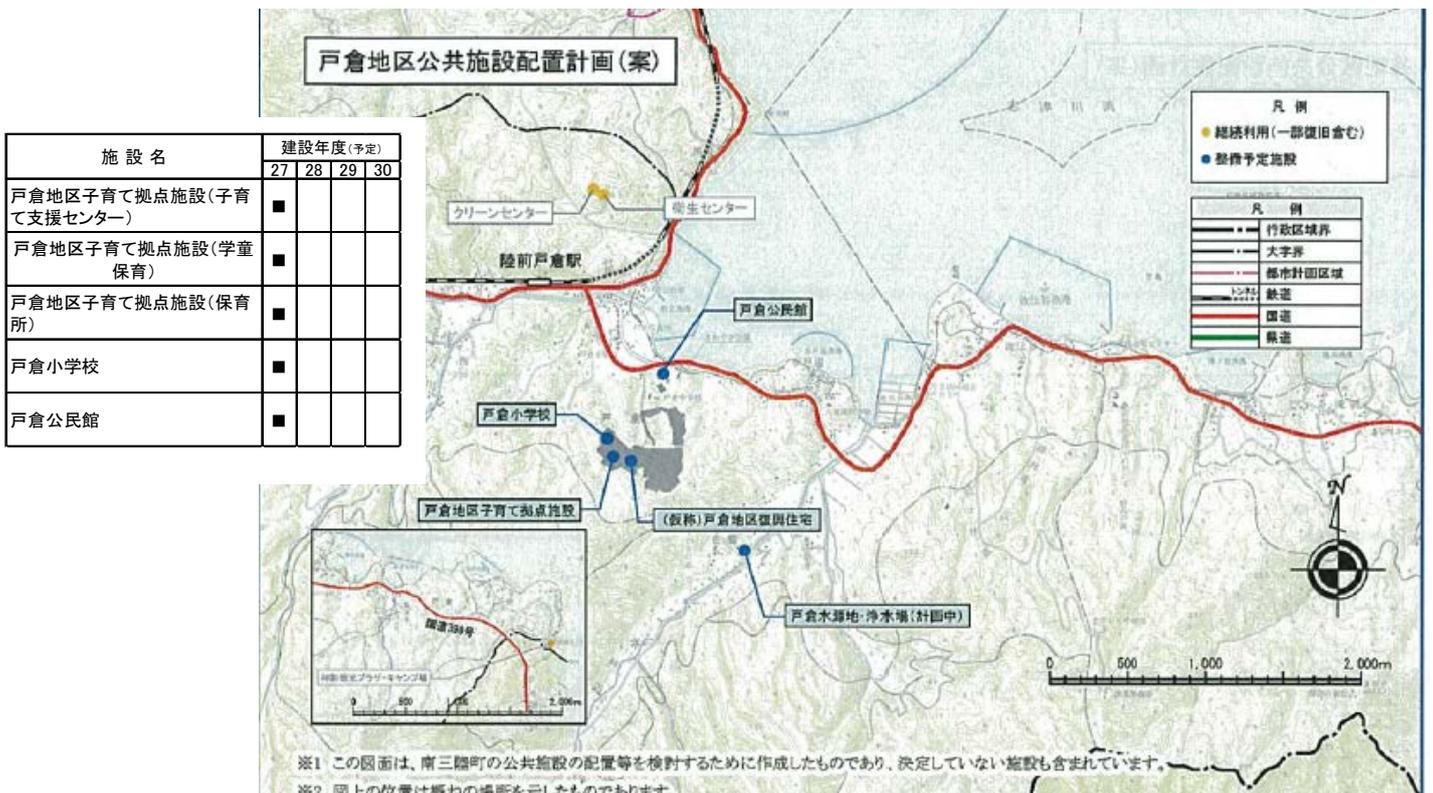
大規模ハウス

ハウス面積は2ヘクタールにも及び、トマト養液栽培は市内初の試みでもあり、今年10月のトマト初出荷に向け関係者は大きな期待を寄せています。

～ 南三陸町公共施設整備計画 (案) ! ～

南三陸町ホームページ上の復興見える化「暮らし」「なりわいと賑わい」で、公共施設整備計画(案)が公表となっておりますのでお知らせします。今回で最後となりますが、戸倉地区の整備計画です。今年度に子育て拠点施設として子育て支援センター、学童保育、保育所が完成します。そして戸倉小学校は8月末に完成予定。2学期から、4年半ぶりに新しい校舎、新しい屋内運動場そして広い校庭で思いっきり勉強、運動ができます。活き活きとした、子ども達の姿が目に見えてきます。着実に町の再生に向けて進んでいます。

(<http://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/index.cfm/6,6611,86,html>)



南三陸町公共施設整備計画 (案)

## 5/14(木)～震災から5年目、初めて田植えが出来ました! (気仙沼市、田の沢工区ほ場整備事業)～

気仙沼では被災した農地復旧のため、復興交付金を活用した「農山漁村地域復興基盤総合整備事業」(ほ場整備)が進められています。対象となっている水田ではガレキ等を取り除き区画整理を行い、細かく分かれた田んぼをまとめて再編成します。市内では4工区(最知、大谷、田の沢、杉の下)、合計73.2haがほ場整備の対象となっており、現在半分程度の工事着手率になっています。



組合メンバー

田の沢工区では5月6日に1.7ヘクタールのほ場整備が完成し農家へ引き渡されました。各工区では、それぞれ農家が委員会を作り、月2回集まって、工事の打合せや営農再開の準備を行ってきました。田の沢工区では、担い手不足を補うため農家が「田の沢機械利用組合」を発足させ、共同で農作業や機械の管理を行います。そして、田植え日和に恵まれた5月14日には組合員総出で、震災以来5年ぶりの田植えを行いました。地域をあげて復興の喜びをかみしめています。



田植えの様子

6/8(月)～復興<sup>アイ</sup>全力Iターン! 気仙沼地域エネルギー開発(株) 佐々木 美穂さんに聞く～

復興だけでなく地方創生への取り組みも求められている昨今、人口の減少や水産加工場等での人手不足が課題の1つとなっています。そんな中、街の外からの定住者、Iターンが注目されています。Iターン人材を通じて被災地の魅力を掘り起こそうと、今回も気仙沼市にIターンされた方にお話を聞いてみました。

—気仙沼にIターンされたきっかけは?

今年の3月まで神戸の大学生でした。震災直後にボランティアで唐桑に入ったのが始まりです。大学に戻り就職活動をする中で、大手企業への就職も選択肢にありましたが、思い切って、魅力のある土地に住むことを優先しました。

—気仙沼地域エネルギー開発(株)でのお仕事は何ですか?

山担当です。自伐林業の推進を担当しています。気仙沼は海の街であると同時にリアス式海岸で、山もある素敵なところ。ここで再生可能エネルギーを利用した持続的なまちづくり、モデルとなるまちづくりにつなげたいです。また、都会の企業だとなかなか相手の顔が見えない部分があると思いますが、ここでは評価を直接伝えてもらえます。そこにやりがいを感じています。

—気仙沼の魅力は何だと思いますか?

唐桑のシェアハウスに住んでいます。いわゆる唐桑御殿の空き家を活用したものです。毎日のように地元の人が訪ねてきてくれて、海の幸やおいしい田舎料理をいただいたり、お世話になっています。

休日は地元の人や唐桑に移住したIターン者で集まり、畑の世話などをしています。スローライフ。毎日充実しています。

—今後の抱負は?

仕事を通じ、気仙沼の海や山の豊かさを50年100年とつなげていきたいです。

都会や地元就職するという選択肢だけではなく、田舎で暮らす面白さを発信していき、田舎移住するIターンを増やせたら。と思います。



佐々木さん、支所にお越しいただきありがとうございました。

# 復興関連イベント

各地で開催される  
復興イベントをご紹介します。

## 【6月13, 14日】銀鮭・かつお祭り（マリンパル女川事業協同組合）

今が旬の「銀鮭・かつお」をテーマにしたお祭りです。市場特製の汁物の無料振る舞いや、旬の海産物などが格安販売されます。「マリンパル女川」は東日本大震災による津波で壊滅状態となったため、販売部門を扱うおさかな市場のみが、2011年10月に女川漁港から国道398号線沿いの現在の住所に移転、営業を再開しています。

◇開催日 両日ともに10:00～15:00 ◇場所 マリンパル女川おさかな広場内

詳細はURLよりご確認ください。⇒ <http://www.miyagi-kankou.or.jp/kakikomi/detail.php?id=10893>（宮城県観光連盟）

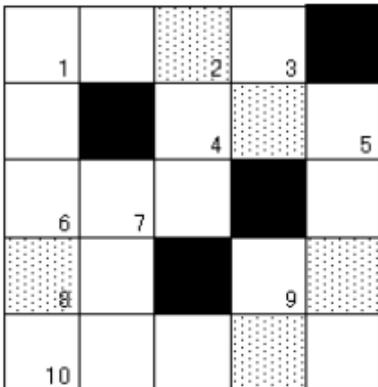
## 【7月1日】仙台うみの杜水族館オープン！

豊かな東北の海、自然環境を体感できる大水槽や川の水槽をはじめ、生き物を通じて世界との絆を体感できるゾーン、海の動物たちによる東北最大級のパフォーマンス、ペンギンやアシカ等とのふれあいによる癒し体験など、様々な魅力がいっぱいです！

◇開館時間 9:00～18:30 ◇場所 仙台うみの杜水族館（仙台東部道路仙台港IC出てすぐ）

詳細はURLよりご確認ください。⇒ <http://www.uminomori.jp/>

## クロスワードにチャレンジ！！



模様付きの枠に入る文字を並べ替えて言葉を作りましょう。  
(ヒント:6月ごろに咲く植物の名前です。)

### 【タテのかぎ】

1. 行方をくまします。
2. 真夜中です。
3. バーベキューの必需品。
5. .○○○○辛苦を共にする。
7. 旅費
9. 噂をすれば○○。

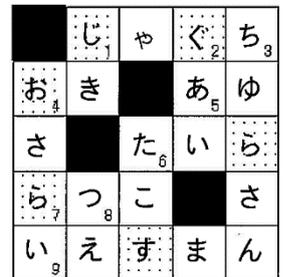
### 【ヨコのかぎ】

1. 扇状に広がる美しい羽根を持ちます。
4. 一度罹れば免疫ができます。
6. アメリカやイギリスで使う液体の単位。
8. ぬかに○○ 手ごたえがありません。
9. 漢字から派生した日本固有の文字。
10. 第1回ノーベル賞受賞者に。健康診断でお馴染みの名前です。

### 【編集後記】

◆5月もあっという間に過ぎ去りました。この1年半、たくさんの人と仕事させていただき、大変充実した毎日です。ありがとうございます。

(前号のクロスワードの回答)



「グラジオラス」

これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

- ①復興庁のホームページ
- ↓
- ②宮城復興局
- ↓
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所  
電話 0226-23-5301  
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ  
<http://www.reconstruction.go.jp/>



徳仙丈山からみた気仙沼！